

Cisco VPN 3000 コンセントレータでのスプリット DNS および ダイナミック DNS の設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[スプリット DNS および DDNS の設定](#)

[スプリット DNS](#)

[DDNS](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

スプリット Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) を使用すると、あるドメイン名に対する DNS クエリを、VPN トンネル経由で内部 DNS サーバで解決することができます。その他すべての DNS クエリは、Internet Service Provider (ISP; インターネット サービス プロバイダー) の DNS サーバで解決されます。内部ドメイン名のリストは、最初のトンネル ネゴシエーションの間に、VPN Client に「送信」されます。続いて VPN Client は、DNS クエリを暗号化トンネル経由で送信する必要があるか、または暗号化せずに ISP に送信する必要があるかを判別します。トラフィックのインターネットへの送信は、暗号化トンネル経由と暗号化されない送信の両方があるため、スプリット DNS はスプリット トンネリング環境でのみ使用されます。

Dynamic DNS (DDNS; ダイナミック DNS) を使用すると、VPN 接続のネゴシエーション成功時に、VPN Client ホスト名の DNS サーバへの自動登録が可能になります。VPN Client が接続を開始すると、ローカル ホスト名はコンセントレータに送信されます。コンセントレータは、アドレスを割り当てるために中央に配置された Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) サーバに、ローカル ホスト名を転送します。DHCP サーバが DDNS をサポートしている場合、割り当てられたアドレスとホスト名は自動的に入力されます。DHCP アドレス割り当ては DDNS が機能するための要件ですが、ローカル アドレスプールとは連携しません。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

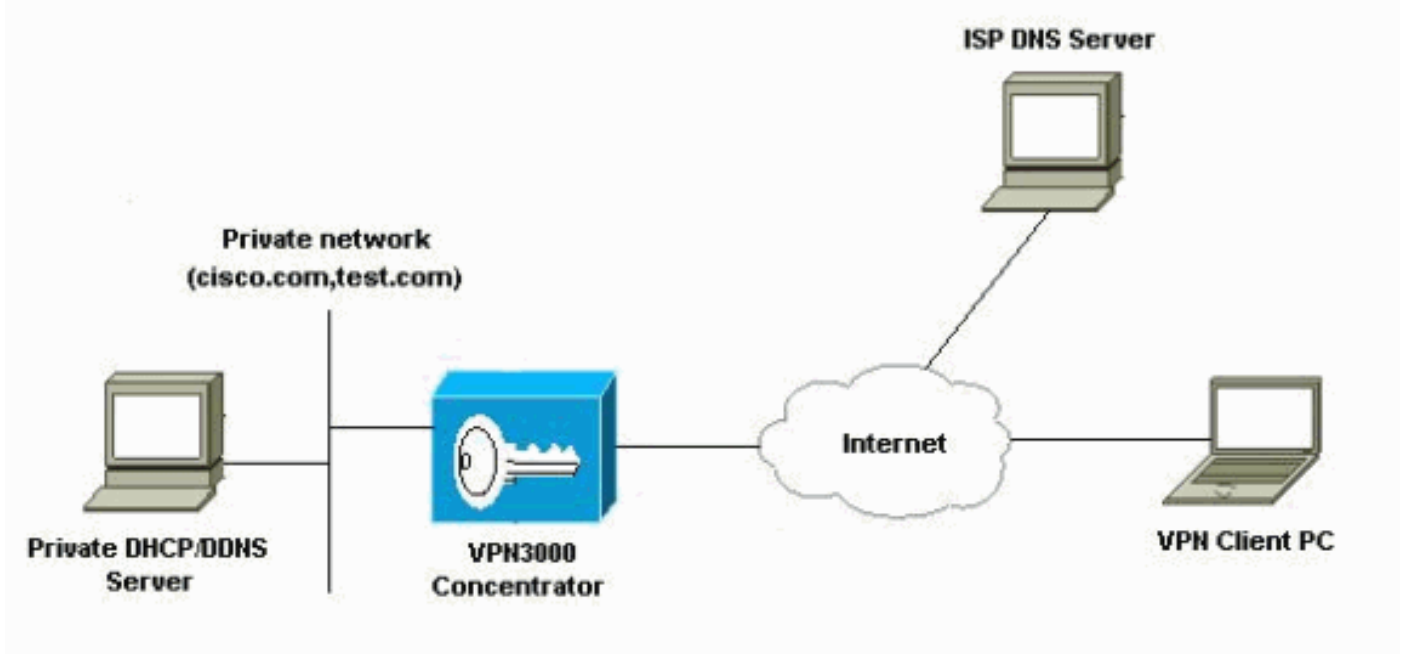
スプリット DNS と DDNS はともに、コンセントレータとクライアント コードの両方のバージョン 3.6 で導入されました。この機能を有効にして設定するには、少なくともこれ以降のバージョンを実行する必要があります。このドキュメントのすべての設定は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンを使用して開発およびテストされています。

- Cisco VPN 3000 コンセントレータ バージョン 3.6.7.A
- Cisco VPN Client バージョン 3.6.1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク セットアップを使用します。



表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)」を参照してください。

スプリット DNS および DDNS の設定

スプリット DNS

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。スプリット DNS のパラメータは、Cisco VPN 3000 コンセントレータの group パラメータの下で設定されます。そのため、クライアント側での設定は必要ありません。

1. GUI の User Management > Groups セクションで適切なグループを選択し、Modify Group

を選択します。

2. General タブで、クライアントに渡される内部 DNS サーバを 2 つまで入力します。

General Parameters			
Attribute	Value	Inherit?	Description
Access Hours	-No Restrictions-	<input checked="" type="checkbox"/>	Select the access hours assigned to this group.
Simultaneous Logins	3	<input checked="" type="checkbox"/>	Enter the number of simultaneous logins for this group.
Minimum Password Length	8	<input checked="" type="checkbox"/>	Enter the minimum password length for users in this group.
Allow Alphabetic-Only Passwords	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Enter whether to allow users with alphabetic-only passwords to be added to this group.
Idle Timeout	30	<input checked="" type="checkbox"/>	(minutes) Enter the idle timeout for this group.
Maximum Connect Time	0	<input checked="" type="checkbox"/>	(minutes) Enter the maximum connect time for this group.
Filter	-None-	<input checked="" type="checkbox"/>	Enter the filter assigned to this group.
Primary DNS	192.168.1.1	<input type="checkbox"/>	Enter the IP address of the primary DNS server.
Secondary DNS	192.168.2.2	<input type="checkbox"/>	Enter the IP address of the secondary DNS server.
Primary WINS		<input checked="" type="checkbox"/>	Enter the IP address of the primary WINS server.
Secondary WINS		<input checked="" type="checkbox"/>	Enter the IP address of the secondary WINS server.
SEP Card Assignment	<input checked="" type="checkbox"/> SEP 1 <input checked="" type="checkbox"/> SEP 2 <input checked="" type="checkbox"/> SEP 3 <input checked="" type="checkbox"/> SEP 4	<input checked="" type="checkbox"/>	Select the SEP cards this group can be assigned to.
Tunneling Protocols	<input checked="" type="checkbox"/> PPTP <input checked="" type="checkbox"/> L2TP <input checked="" type="checkbox"/> IPsec <input type="checkbox"/> L2TP over IPsec	<input checked="" type="checkbox"/>	Select the tunneling protocols this group can connect with.
Strip Realm	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Check to remove the realm qualifier of the user name during authentication.

3. Client Config タブで、スプリット トンネリング、デフォルトのドメイン名、およびスプリット DNS ドメイン リストを設定します。

